

さんべまるごと体験！

～日本遺産を堪能(たんのう)する体験プログラム～

1 趣 旨

- 地域資源を活かした体験活動の場を提供することで、三瓶地域の魅力に気づく。
- 交流の家周辺で活動することで、家族の絆を深めることや時間を守るなどの基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①令和2年 9月26日(土)～27日(日)  
②令和2年10月24日(土)～25日(日)
- (2) 後 援 大田市
- (3) 場 所 国立三瓶青少年交流の家・さんべ縄文の森ミュージアムとその周辺
- (4) 講 師 島根県立三瓶自然館サヒメル学芸員 中村 唯史 氏
- (5) 協 力 多根神楽団
- (6) 対 象 小学生とその家族
- (7) 募集定員 8家族30名程度
- (8) 参加者 ①6家族16名 ②7家族25名(申込18家族65名 抽選8家族30名)
- (9) 日程・内容

1 日目	13:30	14:00	14:30	16:30	17:30	19:00	21:00	22:00
9/26 10/24 (土)	受付	は じ め の 会	【日本遺産①】 「縄文の森で火山噴火の謎を解け」 夏休みにしたかった・・・科学実験、標本づくりあり！！～さんべ縄文の森ミュージアム(三瓶小豆原埋没林公園)～	休 憩	夕 食 ・ 入 浴	【日本遺産②】 「神々や鬼たちが躍動する神話の世界」 石見地域に伝承される神楽上演 ～多根神楽団～	入 浴	就 寝

2 日目	6:30	7:00	7:30	8:50	9:30	11:30
9/27 10/25 (日)	起 床	清 掃	朝 食	退 所 点 検	【日本遺産③】 『出雲国風土記』の国引き神話にも登場する三瓶山に登ろう」三瓶山登山 ～東の原一大平山一室の内池～	終わりの会后、解散

3 事業の内容

(1) プログラムデザインと企画のポイント

「さんべまるごと体験！」は、今年度で5年目を迎える。毎年、三瓶周辺地域でできる様々な体験活動を提供している。令和2年6月19日に、かねてから大田市が申請していた「石見の火山が伝える悠久の歴史～“縄文の森”“銀(しろがね)の山”と出逢える旅へ～」が日本遺産に認定されたことを受け、本事業に日本遺産を体験できるプログラムを取り込み、日本遺産の魅力を提供できないかと考え、プログラムをデザインした。

今回認定された日本遺産は、島根県唯一の活火山・三瓶山をはじめとした火山噴火によってもたらされた様々な恩恵を要素に構成されている。日本遺産の全てのストーリーを提供することは難しいが、当所を拠点に周辺地域とのつながりを活かしながら、少しでも参加者に日本遺産を体験し実感してもらうために「～日本遺産を堪能(たんのう)する体験プログラム～」と副題をつけ、3つの体験プログラムを設定した。

1つ目の「縄文の森で火山噴火の謎を解け」は、およそ4000年前の火山噴火で埋もれた木々(埋没林)が発掘された場所である「さんべ縄文の森ミュージアム」で、科学実験や標本づくりを通して火山の噴火について学ぶ活動である。2つ目の「神々や鬼たちが躍動する神話の世界」は、多根神楽団による神楽を鑑賞する活動である。「石見神楽」は、一足早く令和元年5月20日に日本遺産に認定されている。さらに、多根神楽団が神楽を奉納する佐比賣(さひめ)山神社は、国引き神話

のゆかりの地になっていることから、多根神楽団は日本遺産に深く関わる神楽団である。3つ目の『出雲国風土記』の国引き神話にも登場する三瓶山に登ろう」は、三瓶山の登山を通して、火山の噴火によって形成された山の特徴を直に感じてもらう活動である。

## (2) 運営のポイント

3つの体験プログラムが独立するのではなく、相関するように意識して事業運営を行った。オリエンテーションでは、参加した家族が住居のおおよその位置関係に広がってもらい、国引き神話になぞらえて、「国来（くにこ）、国来」の掛け声で、家族ごとに集まり自己紹介をした。「さんべ縄文の森ミュージアム」からの帰りには、佐比賣山神社を参拝して、由来について伝えた。また、佐比賣山神社で7年に1度の式年祭で飾られる「長押飾り」（切り絵）を当所の売店前に展示して、日本遺産のストーリーとともに紹介をした。

「さんべ縄文の森ミュージアム」では、島根県立三瓶自然館サヒメル学芸員・中村唯史氏に講師を依頼した。火山噴火について、ポップコーンが膨らむ瞬間やコーラの入ったペットボトルにラムネを入れると中身が噴き出すことに例えることで、身近なことから楽しく学んだ。また、埋没林の解説を通して、地球と生命の歴史についても深く学ぶことができた。最後には、実際に登山をしながら、三瓶山の石や植生について興味をもち、それぞれの学びがつながることをねらった。

## 4 参加者へのアンケート結果

### (1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	92	8	0	0
事業のプログラム	92	8	0	0
事業の運営	92	8	0	0
職員の対応	92	8	0	0

### (2) 参加者の声

- ・神楽は、身近なものですが、今回、純粋に楽しむことができて、改めて神楽の良さに気付いて良かったです。
- ・とてもリフレッシュできてよかったです。
- ・とても楽しかったです。大満足！！
- ・アットホームでよかった。

## 5 成果と課題

### 《成果》

- ・事業全体を通して、参加者にゆったりとした日程で日本遺産を紹介したことで、三瓶地域の魅力を、体験を通して深く伝えることができた。
- ・日本遺産認定後すぐに事業プログラムを設定できたことで、大田市の後援を受け、大田市との連携を強化することができた。

### 《課題》

- ・結果的には、日本遺産をテーマにしたプログラムデザインを設定することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、年度当初に計画していたプログラムを変更しなければならなかった。着手開始の遅れが影響したためか、1回目は申込数が少なかった。また、2回目は、新型コロナウイルスを理由にしたキャンセルが2件(1件は繰り上げ当選で対応)あった。「さんべ縄文の森ミュージアム」の感染症対策による人数制限を考慮した抽選であったが、今後の事業では、参加者を決定する際に、募集定員を下回ることがないよう、手立てを講じる必要がある。



(担当：事業推進室長 田邊 治生)